

# ワダイピックアップニュース 2011/5-8

このニュースは「人をつなぎ地域をむすぶ 和歌山大学広報誌 **ワダイピック**」の瓦版バージョンです。地域の皆さまに和歌山大学の旬なニュースをお届けしています！

menu

- 東日本大震災ボランティアバスを運行しました
- オープンキャンパスを開催しました
- ルース駐日米国大使が和歌山大学を訪問しました
- デジタルドームシアターシステムを活用した被災地の360度動画を再現
- 稲作から学ぶ食農教育～米プロジェクト
- 電波観測通信施設が完成しました
- 宇宙カフェOPEN!
- 観光学部棟が完成しました

1

## ボランティアバスを運行しました

東日本大震災被災地支援のために、夏期休業期間中において学内関係者を対象とした災害ボランティアバスを運行しました。この計画は串本町出身の同級生である大学院生3名のほか、教職員をメンバーとする和歌山大学東日本大震災ボランティアバスプロジェクト実行委員会が企画・運営し、8月中旬に2回、ボランティア活動を実施しました。

現地では瓦礫の撤去、溝の清掃、自宅の清掃等を行い学生たちは地元の方々等から多くのことを学んで帰ってきました。



### 和歌山大学ボランティアバス ■ 運行スケジュール ■

- 1 8月16日 昼出発  
20日 朝帰還 (現地2泊)
  - 2 8月23日 昼出発  
27日 朝帰還 (現地2泊)
- 活動場所：岩手県陸前高田市



台風12号による被害を受けた地域支援のためにもボランティアバスを運行しております。

詳しくは

2

## ルース駐日米国大使が和歌山大学を訪問されました

8月30日(火)、ジョン・ルース駐日米国大使が初めて和歌山県を視察され、その日程の中で和歌山大学を訪問されました。

懇談会では観光学部生9人と昼食をとりながら交流し、大学生活や日本の観光、「おもてなし」などについて議論を交わしました。

学生が英語で直接コミュニケーションを取るシーンも多々見られ、非常にリラックスした雰囲気の中で昼食会は進められました。

大使は留学や海外経験の重要性、とりわけ自分の目で世界の文化・歴史を見て触れる経験の素晴らしさを学生に話し、「ぜひ留学し、世界を見て、体験する素晴らしさとその意義をぜひ発信してほしい」と熱いメッセージを語っていました。さらに大使は、「大きな視点でものを見て、グローバルな世界で競争力を持ってほしい。若い時こそ大きな夢を抱き、自分のやりたいことに挑戦してほしい。失敗は学習の一環なのだから、怖れずに失敗も経験してほしい。」と述べ、まず行動し、経験することの大切さを伝えました。

和やかな雰囲気の中で素晴らしい時間を共有でき、参加した学生に大きな刺激となった様子でした。

